町長の独白

いつでも起こる想定外

よもやの集中豪雨での断水、、、こんな事態は誰一人として予想していなかったはずです。地球規模の気象変動豪雨とはいえ、それがわが町に降りかかる災難になるとは、ただただ驚くばかりです。そういえば、ここのところ毎年のように打ち続く異常気象災害に改めて心構えの必要性を感じた出来事でした。

南海トラフ地震を想定した防災訓練にばかり注目がいって、それ以外の災害に関しては殆ど無防備だったような気がします。

しかし、今回の一連の対策の中で、いろいろな問題点も見えてきました。先ずは、災害の想定です。結論は、こちらが想定した範囲の災害などない、ということです。机上訓練をいくら繰り返したところで、災害現場は待ってくれません。常にリアルタイムの進行形で進んでいきます。当然、対応策も変化しなければならないわけです。

その変化の把握と対応の切り替えをどうコントロールするかが問われています。アメリカがハリケーン・カトリーナの教訓をもとにタイムラインという防災システムを考案し、日本にも導入されましたが、何故か日本のものは机上の空論になりかかっているような気がします。行政組織の在り方に起因しているのかもしれません。常に現場からの視点が大切で、臨機応変が求められるため、上意下達で縦割りの行政組織には馴染みにくいのかもしれません。

みなさんの生活に対する考え方も、この辺りで少し変えてみてはいかがでしょうか。蛇口を捻れば水が出てくるという常識は時として通用しなくなります。ある日突然、当たり前の日常が変わってしまう、そんな想定外は、いとも簡単に起こってしまうからです。

だからと言って慌てふためくのではなく、冷静に現実を見つめ、どうすればより良い選択の対応ができるか、周囲を含めた知恵の共有が問われているのです。今回の井戸水の融通やもらい湯、洗濯場の提供などは、地域の自助・共助の典型だと思います。想定外には想定外の対応で臨むしかありません。それを考える力（知恵）が試されているのです。

酷暑の中、わずかの飲用水で乗り切った、みなさんの適応力の高さに感謝いたします。これからも、どんな想定外が待ち受けているかもしれません。しかし、今回の教訓を糧に、「想定外、何するものぞ、、」という気概で臨んで欲しいものです。よろしくお願いします。

上島町長　宮脇　馨

CONTENTS

広報かみじま
2018年9月号　第168号

今月の表紙

町内に古くから伝わる伝統行事は数あれど、一際異彩を放つ「魚島テンテコ踊り」。魚島の盆行事を賑やかに締めくくりました。

2　町長の独白 / 目次
3　かみじまふるさと夜市
4　佐島暮らし
6　健康だより
8　役場各課紹介 /　島おこし協力隊活動報告
9　LETTERS FROM SCHOOL
10　ALTコーナー / 観光協会だより
11　上島の文芸 / KAMIJIMA KITCHEN
12　しまなみ農業だより
13　消防だより
14　お知らせ
20　島々の話題
22　戸籍だより / 1歳の誕生日おめでとう
23　行事カレンダー / 潮汐表 / 潮湯だより
24　KAMIJIMA SNAP

第33回かみじまふるさと夜市

8月4日（土）、弓削港ひだまり公園周辺において、「第33回かみじまふるさと夜市」が開催されました。会場にはステージイベントの他、40の夜店が並び、大勢の来場者でにぎわいました。フィナーレを飾るのは約1300発の花火。訪れた人たちは、夜空を彩る大輪に見入っていました。

島本陣岩城太鼓

ワクワクキッズ

岩城洋楽部

ひめキュンフルーツ缶

人気者「かみりん」

間近で観る花火は迫力満点